

次期総合計画策定に係る県民意向調査結果取りまとめ概要

【調査の概要】

県内に居住する18歳以上の男女5,000人を対象に、平成30年1～2月にかけて調査。有効回答率は、59.4%（2,980人/5,000人）。

本調査の特徴は以下のとおり。

- ① 幸福に関連する12の領域において、それらを構成すると考えられる要素を細分化し、選択肢を設定
 - ② 幸福の観点から、『現時点』で重視するもの及び『これからの10年』で特に改善すべきものの2つの視点を導入
- 8つの政策の柱ごとに分類
(資料中段IV以降)

【本調査の活用方法】

本調査結果は、今後、具体的に検討を進めるアクションプランや評価指標の検討における参考資料とすることを想定。

I 現在の実感

設問項目	感じる+ やや感じる	感じる	やや感じる	どちらとも いえない	あまり 感じない	感じない	わからない	無回答
自然に恵まれている	77.9%	40.2%	37.7%	10.2%	3.9%	1.5%	1.7%	4.8%
住んでいる地域が安全	62.8%	23.2%	39.5%	19.3%	6.4%	4.3%	2.7%	4.6%
家族と良い関係がとれている	62.6%	29.7%	33.0%	19.4%	6.5%	4.5%	2.5%	4.4%
地域の自然環境が守られている	47.4%	14.0%	33.5%	27.8%	10.4%	4.7%	4.4%	5.3%
住まいに快適さ	44.2%	13.7%	30.5%	25.3%	14.8%	9.0%	1.9%	4.9%
地域社会とのつながり	42.5%	10.2%	32.2%	26.1%	15.7%	7.9%	3.2%	4.7%
仕事のやりがい	40.7%	14.4%	26.4%	20.2%	10.6%	6.9%	14.9%	6.6%
地域の歴史や文化に誇り	36.6%	9.8%	26.8%	29.1%	14.2%	6.9%	7.8%	5.4%
こころやからだ健康	35.5%	10.0%	25.4%	25.8%	18.7%	14.6%	1.1%	4.3%
余暇が充実している	31.3%	8.6%	22.8%	28.5%	18.5%	12.2%	4.8%	4.7%
必要な収入や所得が得られている	23.1%	6.4%	16.7%	18.0%	23.6%	24.0%	6.1%	5.1%
子どものためになる教育が行われている	21.7%	4.3%	17.4%	28.5%	13.9%	6.7%	22.8%	6.4%
学習する環境が充実	20.3%	4.2%	16.1%	30.3%	20.8%	12.1%	10.7%	5.7%
子育てがしやすい	19.8%	5.7%	14.1%	26.2%	13.2%	7.3%	25.2%	8.4%

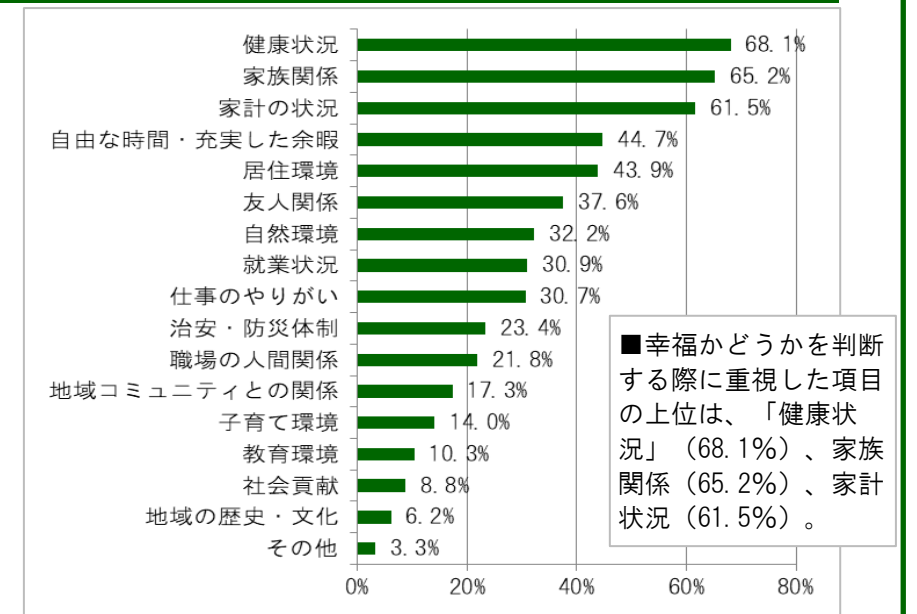
■「感じる」（「感じる」+「やや感じる」）の割合が高い（6割以上）項目は、「自然に恵まれている」（77.9%）、「住んでいる地域が安全」（62.8%）、「家族と良い関係がとれている」（62.6%）。

II 現在の幸福度

幸福	やや幸福	どちらとも いえない	あまり でない幸福	幸福でない	わからない	無回答
12.1%	38.6%	24.5%	13.3%	6.5%	1.5%	3.5%

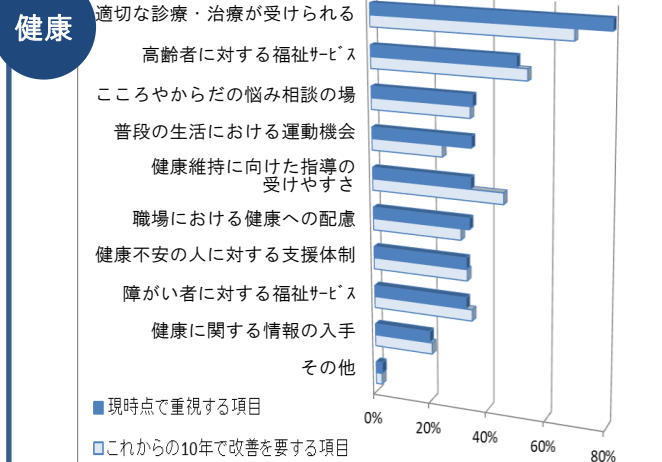
■幸福（「幸福」+「やや幸福」）の割合は、50.7%。

III 幸福かどうかを判断する際に重視した項目



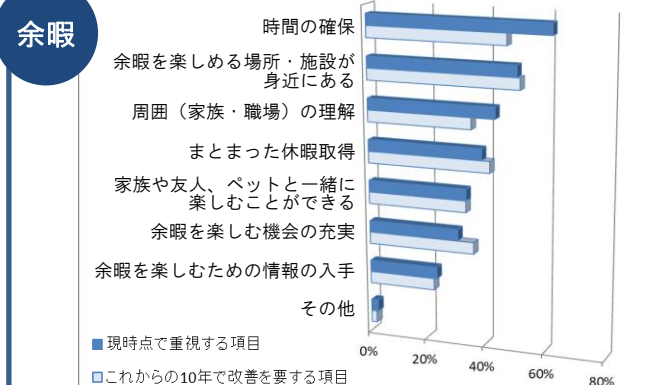
IV 『現時点』で幸福を実感していくために重要だと考える項目／幸福を高めるために『これからの10年』で特に改善されることが望ましい項目

1 健康・余暇



●『現時点』で重視する項目の上位は、「適切な診療・治療」（83.3%）、「高齢者に対する福祉サービス」（49.4%）、「こころやからだの悩み相談の場」（34.8%）。

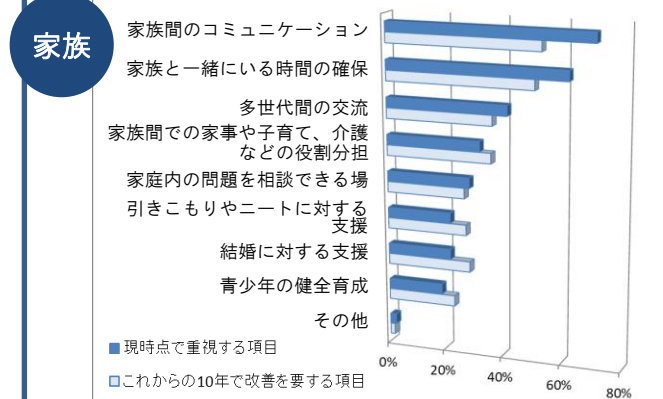
○『これからの10年』で改善が必要と考えられている項目の上位は、「適切な診療・治療の提供」（68.0%）、「高齢者に対する福祉サービスの充実」（53.1%）、「健康維持に向けた支援」（45.3%）。



●『現時点』で重視する項目の上位は、「時間の確保」（61.5%）、「余暇を楽しめる場所・施設」（50.2%）、「周囲（家族・職場）の理解」（43.1%）。

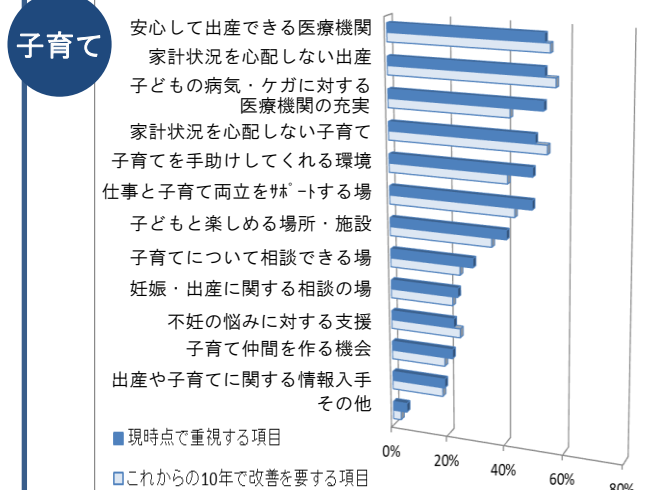
○『これからの10年』で改善が必要と考えられている項目の上位は、「余暇を楽しめる場所・施設の充実」（51.2%）、「時間の確保」（46.9%）、「まとまった休暇取得ができる環境」（41.4%）。

2 家族・子育て



●『現時点』で重視する項目の上位は、「家族間のコミュニケーション」（70.2%）、「家族と一緒にいる時間の確保」（61.6%）、「多世代間の交流」（41.3%）。

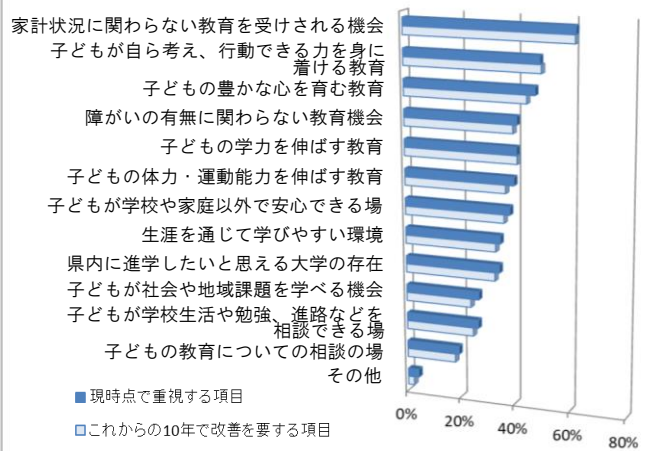
○『これからの10年』で改善が必要と考えられている項目の上位は、「家族間でのコミュニケーションの充実」（52.7%）、「家族と一緒にいる時間の確保」（50.4%）、「多世代間での交流の促進」（36.3%）。



●『現時点』で重視する項目の上位は、「安心して出産できる医療機関」（52.6%）、「家計状況を心配しない出産」（52.6%）、「子どもの病気・ケガに対する医療機関の充実」（52.4%）。

○『これからの10年』で改善が必要と考えられている項目の上位は、「家計状況を心配することなく出産できる環境」（56.3%）、「安心して出産できる医療機関の充実」（54.5%）、「家計状況を心配することなく子育てできる環境」（53.7%）。

3 教育

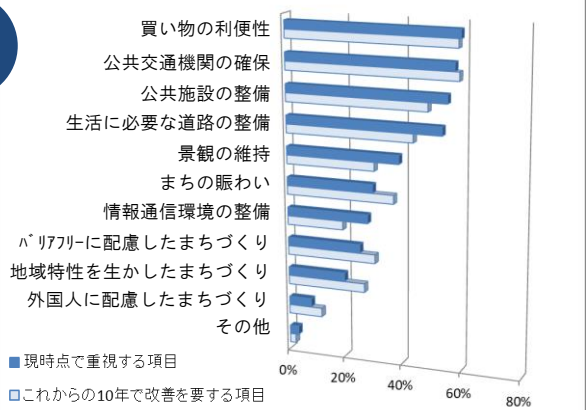


●『現時点』で重視する項目の上位は、「家計状況に関わらない教育を受けさせる機会」(60.8%)、「子どもが自ら考え、行動できる力を身に付ける教育」(48.5%)、「子どもの豊かな心を育む教育」(46.9%)。

○『これからの10年』で改善が必要と考えられている項目の上位は、「家計状況に関わらない、子どもの教育機会の充実」(60.7%)、「子どもが自ら考え、行動できる力を身に付けられる教育環境の充実」(49.1%)、子どもの豊かな心を育む教育環境の充実」(44.1%)。

4 居住環境・コミュニティ

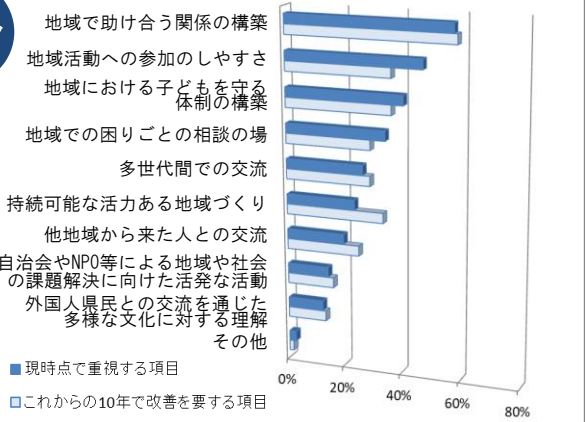
居住環境



●『現時点』で重視する項目の上位は、「買い物の利便性」(58.9%)、「公共交通機関の確保」(58.2%)、「公共施設の整備」(57.4%)。

○『これからの10年』で改善が必要と考えられている項目の上位は、「公共交通機関の維持・確保」(58.6%)、「買い物の利便性の確保」(58.2%)、「公共施設の維持・整備」(48.4%)。

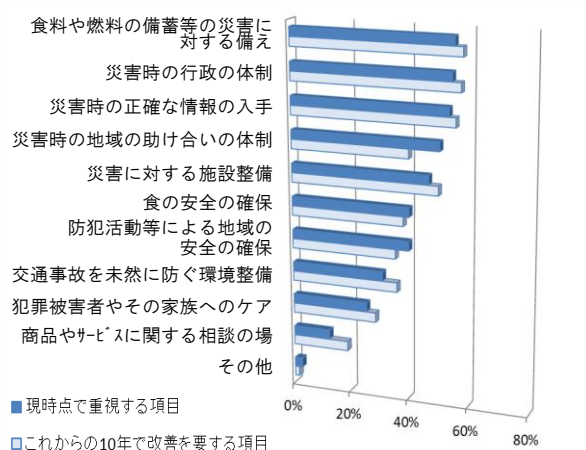
コミュニティ



●『現時点』で重視する項目の上位は、「地域で助け合う関係の構築」(57.0%)、「地域活動への参加のしやすさ」(46.9%)、「地域における子どもを守る体制の構築」(40.4%)。

○『これからの10年』で改善が必要と考えられている項目の上位は、「普段から地域で助け合う関係の構築」(58.1%)、「地域で子どもを守る体制の充実」(36.4%)、「自治会や町内会などによる地域活動への参加機会の充実」(36.3%)。

5 安全

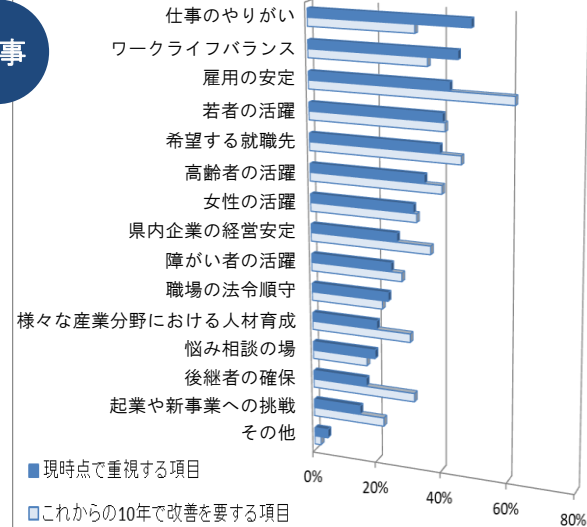


●『現時点』で重視する項目の上位は、「食料や燃料の備蓄等の災害に対する備え」(54.9%)、「災害時の行政の体制」(54.1%)、「災害時の正確な情報の入手」(53.1%)。

○『これからの10年』で改善が必要と考えられている項目の上位は、「災害に対する備えの充実」(57.6%)、「災害時における行政の迅速な対応」(57.0%)、「災害時における正確な情報提供」(55.3%)。

6 仕事・収入

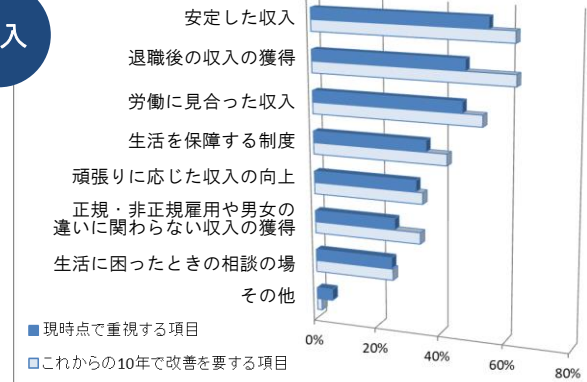
仕事



●『現時点』で重視する項目の上位は、「仕事のやりがい」(48.5%)、「ワークライフバランス」(44.7%)、「雇用の安定」(42.3%)。

○『これからの10年』で改善が必要と考えられている項目の上位は、「県内の雇用の安定化」(61.2%)、「希望する職業・職種への就職支援」(45.7%)、「若者の活躍支援」(41.0%)。

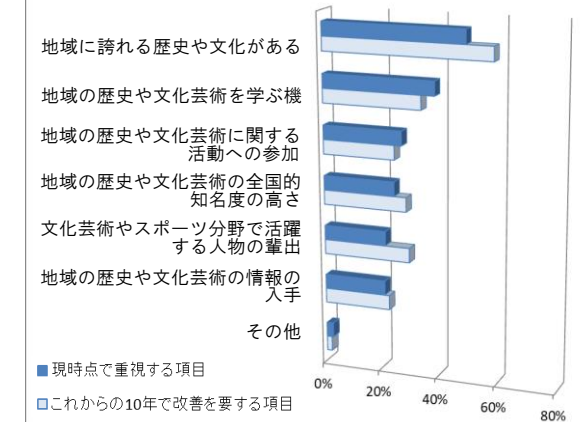
収入



●『現時点』で重視する項目の上位は、「安定した収入」(54.2%)、「退職後の収入の確保」(47.3%)、「労働に見合った収入」(46.5%)。

○『これからの10年』で改善が必要と考えられている項目の上位は、「老後の収入の確保」(62.6%)、「安定的な収入の確保」(62.2%)、「働きに見合った収入の確保」(52.7%)。

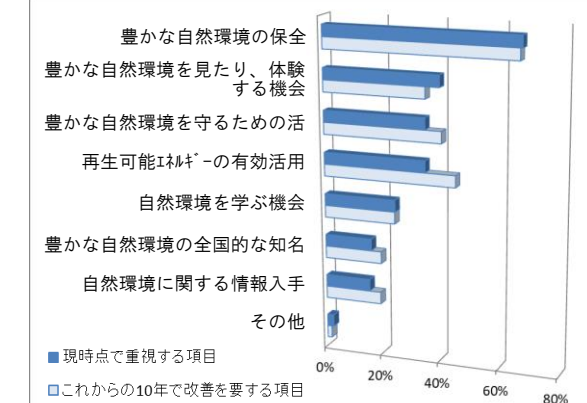
7 歴史・文化



●『現時点』で重視する項目の上位は、「地域に誇れる歴史や文化がある」(48.8%)、「地域の歴史や文化芸術を学ぶ機会」(38.5%)、「地域の歴史や文化芸術に関する活動への参加」(27.1%)。

○『これからの10年』で改善が必要と考えられている項目の上位は、地域の誇れる歴史や文化芸術の保存・継承」(58.1%)、「地域の歴史や文化芸術の学習機会の充実」(33.9%)、「文化芸術やスポーツの分野で全国的に活躍できる人物の育成」(29.7%)。

8 自然環境



●『現時点』で重視する項目の上位は、「豊かな自然環境の保全」(66.5%)、「豊かな自然環境を見たり、体験する機会」(39.7%)、「豊かな自然環境を守るための活動」(34.8%)。

○『これからの10年』で改善が必要と考えられている項目の上位は、「豊かな自然環境の保全」(65.8%)、「再生可能エネルギーの有効活用」(45.0%)、「豊かな自然環境を守るための活動の充実」(40.3%)。